

よつかいどう野外保育さとのたね  
~子どもも大人も共に育つ里山保育~



# 活動方針

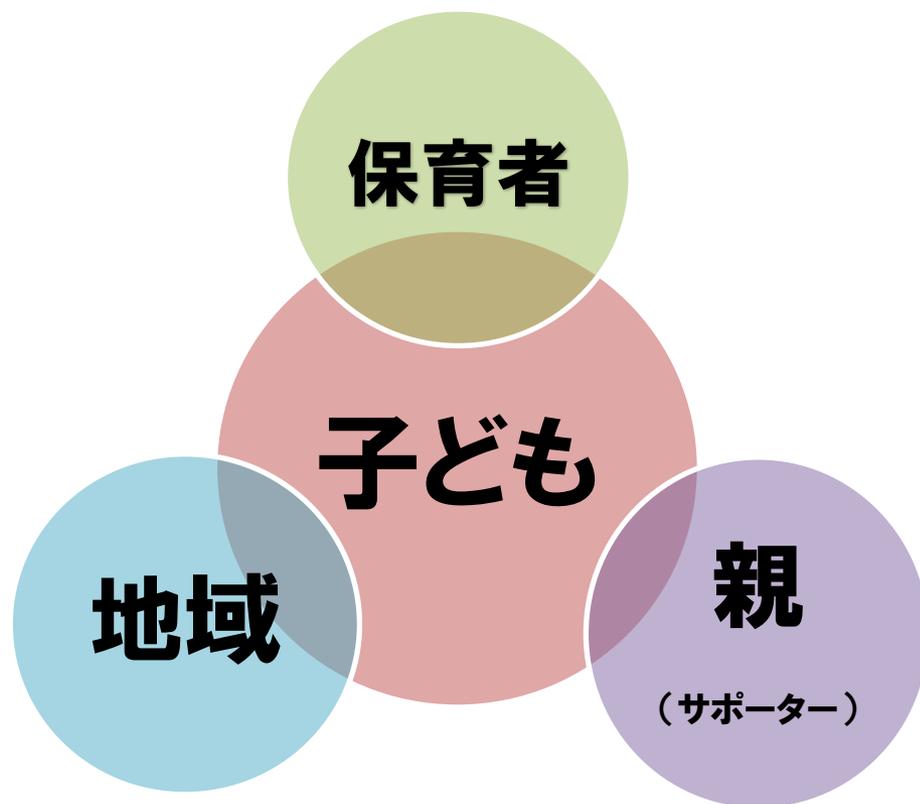
子供の育ちを真ん中に、  
保育者と母たちが繋がり合い、認め合い、支え合い、  
温かな子育て、保育の場とする

四街道の自然の中で、  
四季の巡りを感じながら、  
親も子も大家族のように育ち合う

# 保育方針

「自ら育ちゆく力」を信じ、  
「子供の心に寄り添う保育」

# 「生まれてきてよかった」 と思えること



子どもを取り巻く大人も  
共に幸せであるように



## 0歳児親子クラス さとむすび

(会員制通年型・子育て支援)



## 1～3歳児クラス さとのたね

1,2歳児たね組 週2～3日 / 年少児さと組 週4日

(協同保育型)



## 4,5歳児クラス のやま組 週5日

(一部協同保育型)



## キャンププログラム

(単発型・小学生対象・預かり保育)



## 田んぼチャレンジクラブ

(単発型・4,5歳児クラス父子＋一般親子向け稲作活動)

# 里山保育のフィールド



たろやまの郷



四街道フォレスト  
南波佐間の森

どんぐりの森  
プレーパーク



成山メダカ亭  
畑

四街道  
総合公園周辺



# さとのたね（1～3歳児）の1日



# 偶発的な出会い

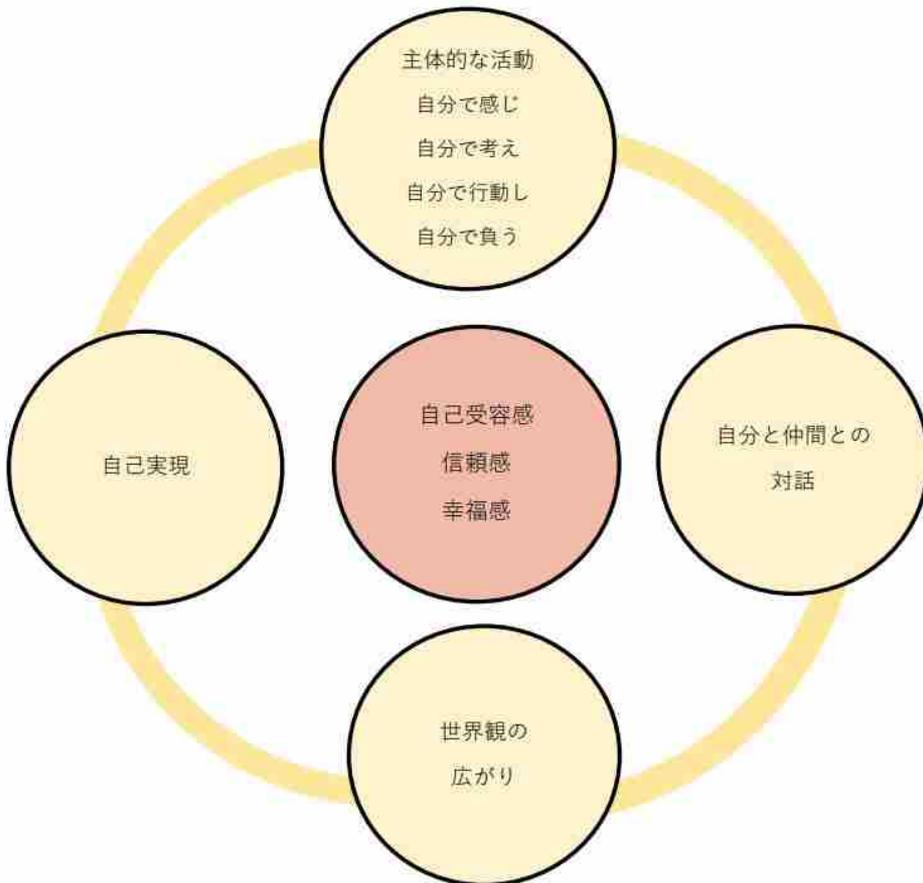




## のやまぐみの保育

よつかいどう野外保育さとのたねの活動方針、保育方針を軸に、より主体的な活動の中で、子供同士の対話を重視しながら、一人一人の世界観を広げ、仲間と共に自己実現を重ねていくことを大切にします。

幼児期全期間を通し、長いスパンで子供一人一人の育ちに寄り添い、心のふるさと・原風景となる自然、温かみと深みを感じられる人との繋がりや日常の積み重ねの中で、人生の根っこを育み、子供も大人も共に信頼感と幸福感を得ていきます。



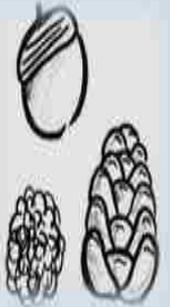
## 保育内容

### 日常的保育

- ・滞在型のとことん遊び
- ・子供たちのミーティング
- ・畑や田んぼの活動
- ・野外クッキング
- ・オープンアート、工作
- ・ロング散歩
- ・暮らしに繋がる季節の手仕事・行事
- ・地域交流

### 大きな行事

- ・遠足
- ・キャンプ
- ・さとたね秋祭り
- ・父子活動
- ・登山
- ・卒業式



# のやま組(4,5歳児)の日常 こどもミーティング



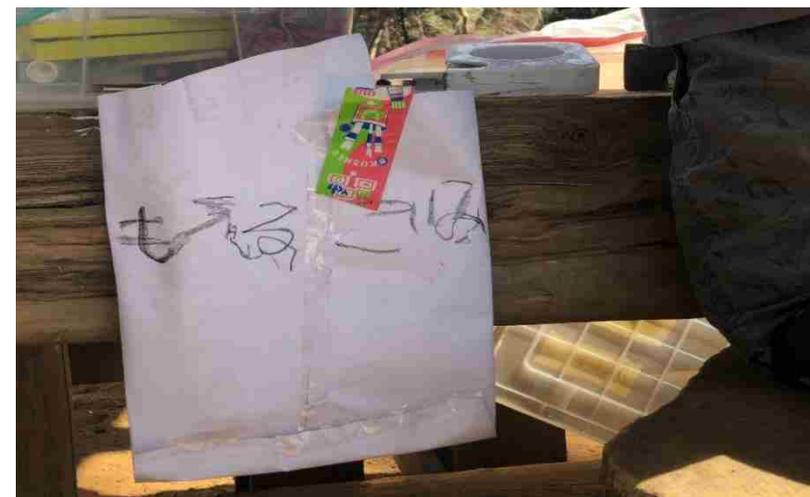
# 調理・火起こし



# 季節の手仕事

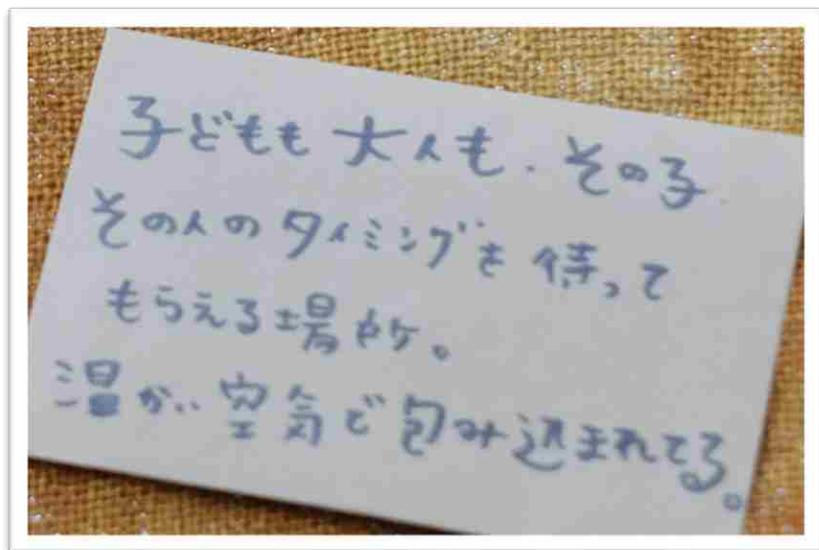
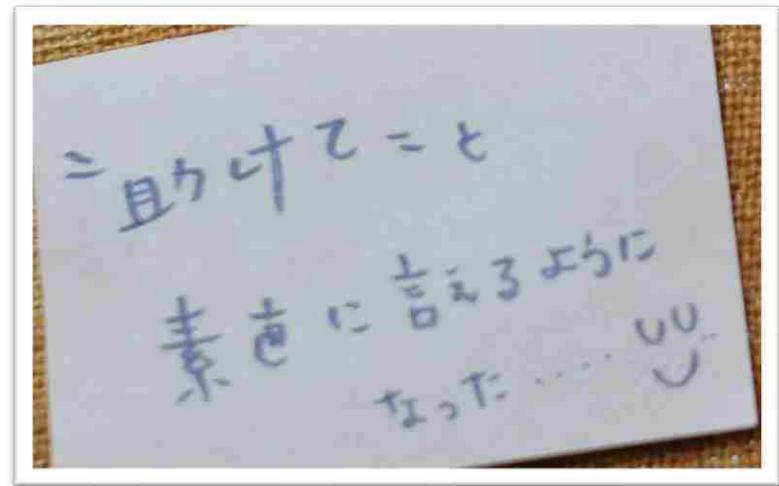


# 自己實現





# 親が保育に入る



# 「子どもが育つ」という本質に 親(大人)が気づく

- ◆「子どもが育つ」過程を見ていくことで、
  - 意味のない(と思い込んでいた)行動が意味のあるものだったと気づいて、理解していく
- ◆気づきが増え、見方が変わると...
  - 動物的でわからない存在だった我が子(子ども)が愛しく思え、無条件で大丈夫と思える

# 子どもが育つ

## ◆自発的、主体的に生きる

- 自分で感じ、自分で考え、自分で試す、自分で決める

## ◆協同的に生きる

- 仲間と共に、分かち合うことの喜びを知る
- 困った時は誰かに頼っていい
- 誰かの力になりたいという感覚を育て合っている

# 非認知能力＝生きる力が育つ？

- 体力、柔軟性
- 適応力
- 感じる力
- 自尊心、自己受容感
- コミュニケーション力
- 想像力、創造力
- レジリエンス（逆境に立ち向かう力）

# 気づいたら、、、 子どもも大人も共に育っている

- 自らの存在肯定→他者理解
- 人が、循環の中で生きていること(共鳴)への気づき

子どもは、「自分のままで、  
自分と相手を大事にすることを体感」し、  
大人は、「子育ての醍醐味」  
を実感していく

# 里山保育がもたらすもの ～循環型社会～

森林・里山  
(地域資源)  
の利活用

多様性・共通性  
への理解

自然を活用した  
保育

より子どもを  
真ん中にした保育

親子の  
受容感と幸福感

地域の人・自然・  
子育て・暮らしを  
繋ぐ